

南多摩高次脳機能障害支援センター

Tokyo South-Tama Community Based Higher Brain Dysfunctions Center

令和2年度（2020年度）実績報告



南多摩地域（八王子・町田・日野・多摩・稲城）

永生会では平成25年度より東京都高次脳機能障害支援普及事業「専門的リハビリテーションの充実」事業を受託し、活動している。本事業の目的は「高次脳機能障害者のリハビリテーションの質の向上と関係機関等の連携を進め、地域で高次脳機能障害の特性に対応した切れ目のないリハビリを提供できる体制の充実を図る」ことである。今回は令和2年度の取り組みについて報告する。

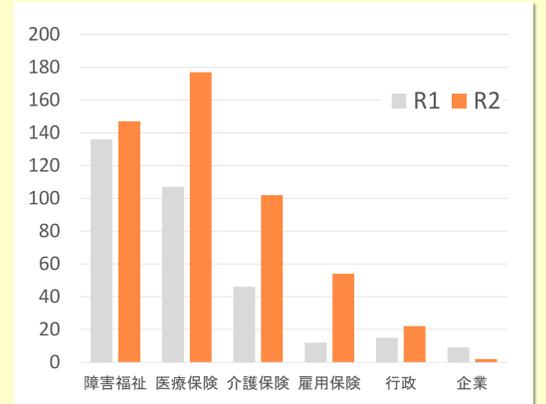
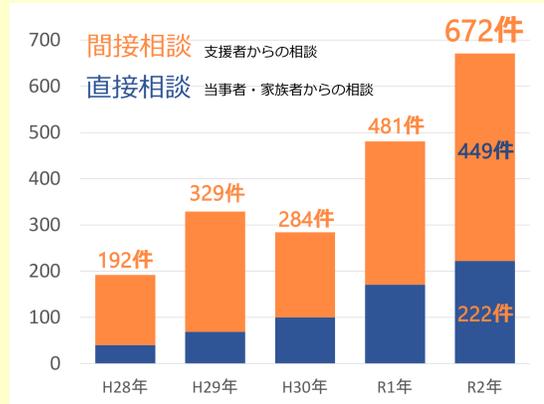
総相談件数672件と過去最多



相談事業

電話、面談による相談支援を実施。

- ・主な相談機関は医療機関、居宅介護支援事業所、相談支援事業所であり、全体の4割にあたる。
- ・保健種別では、医療保険、介護保険、雇用保険からの相談が増加した。
- ・相談内容は、暴力等の社会的行動障害を伴う困難ケース、復職や作業所への通所の希望、自動車運転支援の希望等多岐に渡っていた。



新型コロナウイルス感染拡大を考慮しオンライン・書面形式で開催



連絡会

◆協力施設連絡会（全6回 web開催）

参加施設：北原国際病院、永生病院（八王子）、多摩丘陵病院、ひかり療育園（町田）、マルシェいなぎ（稲城）、天本病院、多摩市社会福祉協議会（多摩）、日野市高次脳機能障害者支援センター・つくし（日野）

◆症例検討会（web開催）

頻度：協力施設連絡会と同時開催
計4回

◆南多摩圏域連絡会（書面開催）

日付：令和3年3月
参加施設：23施設



はちおうじ高次脳機能障害者家族会「はっちゃん」運営支援

コロナ感染拡大を考慮し、定例会は休止。運営委員会は、対面とwebを併用し開催した。
会報の発行：年2回
総会：書面開催



その他の事業

1 冊子版「NoProblem（脳損傷）in 南多摩」企画・制作

テーマ：コロナでもNo Problem！

当事者発表・交流の場として、例年会場イベントを開催してきました。コロナ感染拡大のため今年度は冊子を作成しました。

参加者：15名（当事者・ご家族）

内容：当事者インタビュー、対談、手記、作品紹介（折り紙、漫画、ジオラマ）、家族会の紹介



2 高次脳機能障害支援施設マップ 第2版作成

南多摩5市の高次脳機能障害支援施設の情報集約を目的に、行政・福祉施設・病院を掲載。令和3年度に発刊予定。

掲載施設数：123施設（第1版 83施設）

紙面を見やすく改定し、内容も充実させています。

3 自動車運転再開支援



自動車運転に関する相談が昨年度よりさらに増加。運転支援の取り組みの一環として、ドライビングシミュレーターによる評価や、自動車教習所と連携しての実車評価を行いました。

2020年度支援件数：17件

4 自動車運転研修会

『セラピストによる脳損傷の運転再開支援』 NEW

YouTubeでの限定配信形式で、自動車運転支援に関する研修会を行いました。

南多摩圏域のセラピストを中心に多くの申込がありました。

視聴後に記入いただいたアンケートからは、「病院だけでは十分な評価・支援が行えない」など、運転支援に関するお悩みも多く寄せられました。

日付：令和3年3月30日（火）～4月13日（火）

講師：藤田佳男先生（千葉県立保健医療大学 作業療法士）

申込者：84名

閲覧数：88回



相談件数は、昨年度（令和元年）の481件に比べ大幅に増加した。新型コロナウイルス感染拡大により活動に制限が生じたものの、医療機関や居宅介護支援事業所、相談支援事業所等から相談が寄せられ、高次脳機能障害に関する専門相談が必要とされる状況にある。今後当センターでは、困難ケースへの相談対応、webを活用しての支援者向け研修会の企画、当事者・家族交流イベントの企画に力を入れて取り組みたい。



南多摩高次脳機能障害支援センター

<http://www.m-kojino.com/>

〒193-0942 東京都八王子市町田町583-15 医療法人社団永生会 高次脳機能障害支援事業推進室 tel:042-666-5882 fax:042-666-5881 mail:info@m-kojino.com